

## TTC 提案山行実施記録

2022年6月20日 H.H 作成

1. 山行名	赤城山（黒檜山、駒ヶ岳） [1,828m／群馬県]			
2. 実施日	2022年6月19日(日)	日帰り	マイクロバス利用	
3. 天候/参加人員	天候：晴のち曇 レベル：★★ 参加者：12名(男性3名/女性9名)			
4. パーティスタッフ	省略			
5. 参加メンバ	省略			
6. 費用 6,000円/人	【内訳】 マイクロレンタル料 30,360円 ドライバー謝礼 20,000円 燃料代 9,720円 有料道路 10,580円 キャンパ金 1,340円			
7. 歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイドブック	3:10	—	—
	計画	3:50	0:50	4:40
	実行	3:20	0:52	4:12
8. 実行コースタイム記録				
<p style="text-align: right;">1:40 (昼食)</p> <p>旧ヨ-カト前==圏央厚木 IC==嵐山 PA==赤城 IC==赤城公園ビスタ C==(駐車場)---黒檜山登山口----黒檜山山頂---</p> <p>6:30                      7:50-8:05      8:45                      9:27-37                      9:40-52                      9:53                      11:33-12:18</p> <p>0:45                      0:55</p> <p>----駒ヶ岳----鳥居峠===覚満淵散策===道の駅ふじみ===赤城 IC===高坂 SA===圏央厚木 IC===旧ヨ-カト前</p> <p>13:03-13:10      14:05-25      14:35-15:05      15:35-55      16:10      17:42-57      19:05</p>				
9. コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>○ 梅雨の季節でもあり、天気予報は、確実に雨が降る予報となっていた。しかし、予報の信頼度がCだったため、天気が良くなる可能性も捨てきれず、レンタカーのキャンセルをぎりぎりまで待ってもらった。その甲斐あってか、予報が好転し、果たして当日の朝は、見事に晴れて、日の光がまぶしかった。</p> <p>○ 登山口からいきなり始まるガレ場の急登は、登りにくい登山道であったため、間隔が開かないように、できるだけゆっくりと登ることを心がけた。周囲は白樺の木々に囲まれ、ハルゼミとカジカガエルの鳴き声に似たセミ？が盛んに鳴いていた。汗を拭き、ふと立ち止まると、登山道の所々から、大沼を見渡せる見事な展望が広がり、時折吹き上げる初夏の涼風が心地よかった。</p> <p>○ 黒檜山山頂に到着後、集合写真を撮影し、すぐさま展望の利く見晴スポットに移動した。そこからは、百名山の名を冠した秀峰や、雪をまとった山々も見渡せた。この場所で昼食を摂ることとしたが、日差しが強かったため、日陰を選んで休むことにした。しばらくすると、北西側からガスがかかり、涼しい風が吹き始めたので、少し早めに出発することにした。</p> <p>○ 駒ヶ岳から下山するまでの道は、それほど多くの登山者と出会うことはなく、登山道も歩きやすかった。しかし、駐車場が見えて下山口に近くなると、大きな岩が目立ち始めたため、岩を避けるように下って行くが、踏み跡もあちこちに広がっており、コースがはっきりしていないように感じた。</p> <p>○ 覚満淵は、初夏のそよ風と新緑に心が洗われるものの、小尾瀬というには、やや期待不足な湿地帯で、生い茂ったクマザサと緑の草紅葉(秋になれば見事な?)が湿地を占拠して、植生の種類に乏しく、やや残念だったが、どこからかカッコウやホトギスの声が聞かれ、ふと尾瀬を彷彿とさせてくれた。</p> <p>○ 赤城山は、つつじの宝庫として有名だが、覚満淵にも多くのレンゲツツジが今を盛りと咲き誇り、淵の出入り口付近には、見事な朱色のレンゲツツジの大木があり、皆々歓声とともに盛んにシャッターを切っていた。</p>				
(以上)				